

令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	館山市立船形小学校
ア 全校児童生徒数	100名 (令和5年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	<p>①道徳：各学年 102名 ②車いす体験学習：3, 4年生 32名 ③聴覚障害及び手話についての理解：3, 4年生 33名 ④車いす体験学習：5, 6年生 44名 ⑤あすチャレ：全学年 102名 ※全校児童数102名(12月1日現在)</p>
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	<p>① 通年：道徳の授業を通じての障害理解(各学年) ② 6月：車いす体験学習(3, 4年生)</p>  <p>③ 11月：聴覚障害及び手話についての理解(3, 4年生)</p>  <p>④ 12月：車いす体験学習(5, 6年生) ⑤ 1月：あすチャレスクール(全校：予定)</p>
エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	<p>②車いす体験学習(3, 4年生)本校ブログで紹介(6月30日) ③聴覚障害及び手話についての理解(3, 4年)学年だよりで紹介 (11月22日発行) ④車いす体験学習(5, 6年生)本校ブログで紹介(12月12日) ⑤あすチャレスクール本校ブログで紹介(予定)</p>
オ 実践成果 (児童生徒の変化など)	<p>①道徳の授業を通じて、社会での生活への困難を抱えている人たちがいることを知るとともに、そのような人たちへの接し方や支援の仕方についての理解が深まった。 ②車いす使用者への支援の仕方について理解が深まり、適切な支援をしようとする意識が高まった。 ③聴覚障害についての理解と手話への興味関心が深まり、手話教室に通い始める児童もいた。</p>
カ 次年度の予定 (課題や改善策など)	<p>①引き続き道徳の授業の充実を図る。 ②いろいろな障害について引き続き理解を深めていく。</p>

キ 添 付 資 料 (広報資料・Web 記事など)	① 本校ブログ（6月30日）3，4年生車いす体験学習 ② 4年学年だより No.16（11月22日発行）聴覚障害及び手話 についての理解 ③ 本校ブログ（12月12日）5，6年生車いす体験学習
------------------------------	--

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。